



私が「伝える」 人が「つながる」

みんなで「育む」 西宮の暮らし

市長選挙を経て、市政は一つの節目を迎えました。
私自身も気持ちを新たに、課題と向きあい、暮らしと直結する市政をまっすぐお伝えしてまいります。

西宮市議会議員 牧みゆき

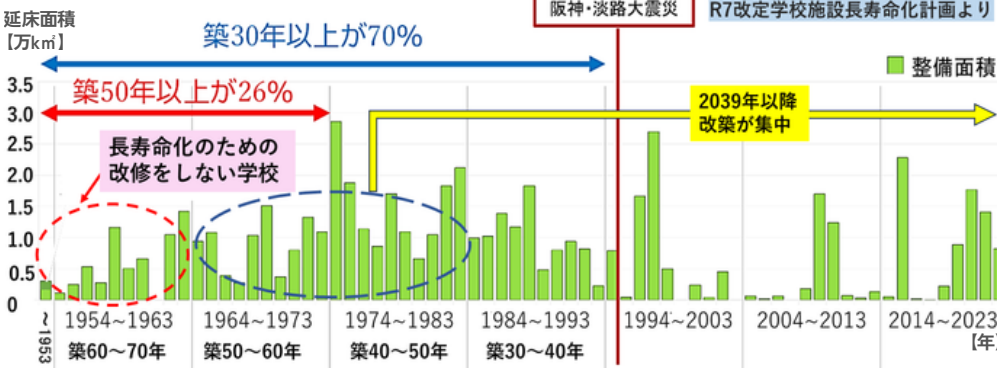
長寿命化工事をしてない学校も築80年まで改築しない？ 災害拠点でもある学校、改築を前倒しすべきです。

昨年9月の一般質問では、市の公共施設において修繕・更新の先送りが877件・総額約657億円にのぼり、そのうち学校施設だけで617件・約553億円分を占めるなど、深刻な状況を明らかにしました。この問題は、3月20日付けの神戸新聞で市長選の争点の一つとしても取り上げられました。

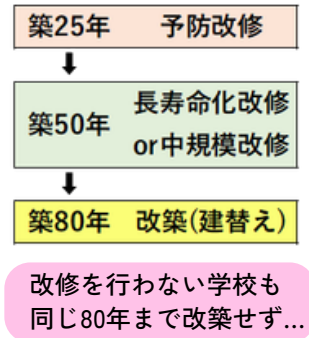
しかし、私はこの金額に含まれていない学校の改築(建替え)についても、強い懸念を抱いています。

本市の学校施設の約26%は築50年以上が経過し、建物や設備の老朽化が著しく進んでいます。市の「学校施設長寿命化計画」では、築25年で予防改修、築50年で長寿命化改修等を行い、築80年で改築する考え方が示されています。しかし、計画策定の時点(2018年)で、築50年を超えていた12校(26棟)については、これらの改修を行わないまま、同じ80年まで改築しない計画となっています。こうした学校では、すでに老朽化による不具合が多発しており、私は安全性を強く懸念しています。

■学校の整備状況



■学校施設長寿命化の考え方



さらに、市の今後約40年間の学校改修・改築費の見通しによれば、2039年以降に改築が集中しています。私はこのままのスケジュールでは財政面や施工体制の面からも実現性を欠いており、前倒しが必要と訴えました。

市は「建物強度の安全性は確保されており、現時点で前倒しは考えていない」「改築には多額の費用を要するため、総合的判断が必要」と答弁する一方、不具合が多発している現状と改善の必要性を認めました。

今年度予算では、昨年的一般質問で天井の雨漏りを取り上げた浜脇中学校の格技場をはじめ、複数校の床や屋根の改修に約8600万円が計上されました。必要な対応に着手したことは前進と受け止めていますが、これは依然として応急対応の延長であり、根本的な解決には改築を前倒しするほかありません。

児童・生徒の安全はもちろん、学校は災害時には避難所など防災の拠点となる重要施設です。実態に即して学校施設の安全性と機能性の確保に取り組むよう強く求めました。

共に政治を考え、みんなで創っていきませんか？

政治はあなたの暮らしそのものと言っているほどに自分事。

と 自転車が停められない。～JR甲子園口駅と各駅の駐輪場整備～

朝、来たら満車でとめられない…。年間約650万人が利用する(市内23駅中6番目)JR甲子園口駅では、慢性的な駐輪場不足が続いています。市営駐輪場の年間利用率はほぼ100%。一時利用は朝には満車、定期利用では最長で2年という長期間の空き待ちが続いています。民間駐輪場も満車など、駅周辺全体で足りていない状況です。

現在、市は駐輪場整備を民間に委ねる方針のもと、補助制度を設けています。駐輪場を整備すると1ヶ所あたり上限50万円の補助を受けられる仕組みですが、これまでいずれも限度額いっぱいの利用だったにもかかわらず年間予算は50万円…。つまり、実質的に年間1ヶ所しか補助できず、促進とは言い難い設計となっています。

市民がスムーズに公共交通機関を利用できる環境を整えることは市の責務です。市による整備はもちろん、本市はJR西日本と「まちづくりに関する包括連携協定」※を締結しており、こうした枠組みも活かしJRと連携した整備も検討すべきです。さらに、駅ごとの必要台数を算出し、計画的に整備を進める仕組みが整っていないことも問題です。これは甲子園口駅だけでなく各駅に共通する課題であり、実情に応じた整備方針の見直しが必要です。

私の指摘を踏まえ、市は、補助制度の見直しや計画的整備に向け着手する考えを示すとともに、JR含め鉄道事業者との連携等、主体的な整備を検討する姿勢を示しました。

※ 沿線と周辺地域の持続的な価値や魅力の向上につながることを目的とした協定
鉄道の利用及び沿線の安全・安心の向上に関することも取り組み内容としている



修繕・更新をこれ以上先送りしない決断を強く求めます。



本市には、施設の中長期的な修繕・更新計画から外れ、老朽化の対応が遅れている施設が複数あります。

その一つが、通信10号でお伝えしたJR西宮駅前の“フレンテ西宮”で、市が所有しニトリに貸し付けているフロアの空調設備が31年間更新されていない事案です。このフロアは普通財産※1として扱われています。

普通財産の建物は民間事業者や自治会などに貸し付けられているケースが多く、契約内容によって修繕・更新を誰が担うのかが異なるため、中長期的な計画の対象外とされています。そのため、修繕・更新の判断は個別の部局に委ねられていますが、結果として実施が後回しになりやすい構造となっています。

こうした課題を踏まえ、普通財産含め、市が保有する建物を一元的に管理する必要性を指摘したところ、市は、すべての建物の状況を一元的に集約し、修繕等の可否や優先順位などについて、部局を横断した検討や意思決定を行う体制を構築する考えを示しました。これは私が前回の一般質問で提案した内容であり、財政難のなか施設の総量削減が求められる今、重要な第一歩です。

一方で、これは出発点に過ぎません。令和7年度の包括外部監査※2では、総量削減など公共施設における課題の進捗の遅れや進め方について、厳しい指摘がなされました。そのほとんどがこれまで議会で指摘されてきた内容と重なるもので、監査の立場からも同様の危機感が示されたものと受け止めています。

私は市に対し、実効性を伴う体制を構築するとともに、これ以上先送りをしない決断を強く求めました。

※1 市が保有する土地・建物のうち行政財産（学校や市役所など市が直接に公共事業等に利用するもの）以外のものを指す

※2 公認会計士や弁護士など外部の専門家が市のお金の使い方や進め方を独立して監査（チェック）する制度

3月定例会で行った一般質問

- ・ JR甲子園口駅及び各駅の駐輪場整備
- ・ DXの推進体制と庁内の組織改革
- ・ 普通財産建物の修繕・更新と管理
- ・ 学校の改築と修繕・更新の計画

YouTubeで→
ご覧頂けます



お知らせ

第15回 牧みゆき 市政報告会

7月上旬予定

定例会ごとに市政報告を
行っています。

※詳細・申込はホームページから



身近な内容をお伝えしています

プロフィール まき 牧みゆき / 政党無所属

1978年生まれ 広島県出身 現在1期目
大阪教育大学教育学部卒業 元小学校教諭
2023 / 民生常任委員会副委員長 2024 / 建設常任委員会副委員長
2025 / 総務常任委員 阪神水道企業団議員 広報委員

連絡先

〒662-8567
西宮市六湛寺町10-3 議員控室
☎ 0798-35-3343(会派・ぜんしん)
✉ makimiy33@gmail.com

＼牧みゆきとつながる/
公式LINE@
まきみゆきcafe



ホームページ・
YouTube・各SNS

